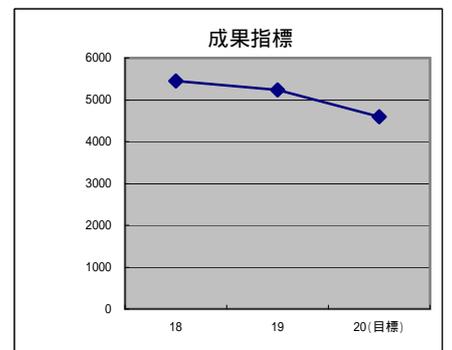
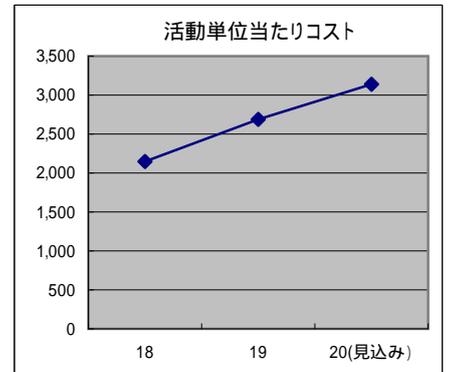


事務事業名		福利厚生会関係事務		予算科目	会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち		款	
	施策(節)	3	行財政運営		項	
	施策の方向				目	
関連する計画等				事業		
				作成部署	市長公室人事課	
				連絡先	072 958 1111 内線 3432	
事業の目的	対象(誰を・何を)					
	特別職、正職、再任用の職員					
	意図(どういう状態にしたいのか)					
事業の内容	職員の福利厚生を図る羽曳野市職員福利厚生会の事務局として職員の福利の増進を図る。					
	羽曳野市職員福利厚生会の事務局として、役員会の開催、福利厚生会の予算・決算・経理・庶務の事務を行う。					
根拠法令等		地方公務員法、職員の厚生制度に関する条例				
事業開始時期		<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年 月開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない			終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化		職員の福利厚生を担っていた大阪府市町村職員互助会の平成21年3月31日での解散が決まっており、その一部を福利厚生会が引き継いでいかなければならない状況となっている。				
市民や議会の要望						
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()				
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		委託内容		
		<input type="checkbox"/> 民間委託				

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		0	0	0
人件費【2】 (千円)		1,680	2,100	2,520
職員数	正規職員	0.20 人	0.25 人	0.30 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		1,680	2,100	2,520
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	1,680	2,100	2,520
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
会員数	人	781	781	802
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		2,151 円	2,689 円	3,142 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		14 円	17 円	21 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
一般事業延べ参加人数(人)	(式)	参加事業と実施事業がニーズがあっていることと比較的強い相関関係があると考えられる。	5,000	5,458	4,800	5,235	達成率(%)	109.1%
							達成率(%)	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地方公務員法にも職員の福利厚生を図らなければならない旨定められている一方、その時の妥当な福利厚生水準がある。社会情勢の変化に対応した適度な水準の福利厚生水準を保っていかなければならない。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	福利厚生事業の民間委託など効率的な実施が求められる。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地方公務員法にも職員の福利厚生を図らなければならない旨定められており必要な事業であるが、民間委託など効率的な実施が求められる。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	予算の範囲内で事業実施を行い、会員からは好評である。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当 部局 評価	総合評価									
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了									
	評価の理由									
	大阪府市町村職員互助会が平成21年3月31日に解散されるため、互助会が担っていた事業がなくなるため、ますます福利厚生会の事業が重要となり、今後の対応を考えていく必要がある。									
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)									
少ない労力及び金額でより満足度の高い福利厚生事業が実施できるよう方法を検討していく。										